

会議録

会議の名称	住田町鳥獣害防止総合対策協議会通常総会
開催日時	令和7年10月7日(火) 13時30分から15時00分まで
開催場所	住田町役場町民ホール
<p>議長の氏名 (横澤 一郎)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長 横澤 一郎</li> <li>・副会長 水野 豊</li> <li>・鳥獣保護監視員 紺野 昭市</li> <li>・三陸中部森林管理署 棚木 幸次郎</li> <li>・事務局長 菊田 賢一</li> <li>・事務局長 佐々木 暁文</li> <li>・事務局 小野 和絵</li> <li>・事務局 吉田 啓人</li> <li>・事務局 金 大成</li> </ul> <p>【代理出席】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事 高萩 修</li> </ul> <p>【欠席】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事 千葉 憲一</li> </ul>	
<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>議案第1号 令和6年度鳥獣害防止総合対策事業実績報告について</p> <p>上記について、令和6年度に実施した事業、収支決算について事務局より説明。監査報告を高萩修氏から代理報告。</p> <p>横澤：町内にサルの群れはいくつあるのか。</p> <p>事務局：調査により確認されているのは4群。そのうち2群にGPSをつけて監視を行った。</p> <p>横澤：放任果樹の伐採の進捗状況は。</p> <p>事務局：各農林業振興会に要望調査を実施し、取りまとめ中。</p> <p>横澤：サルの捕殺ができなければ電気柵による対策で不十分と考える。</p> <p>事務局：被害状況については県に情報共有し、首長から要望書も提出している。また、今年度県の事業により、専門家会議や沿岸広域での調査が実施される。</p> <p>横澤：農業団体としてもサル被害の要望をするつもり。行政と関係団体が連携していく必要がある。</p> <p>水野：追払いの際、花火による恐怖からか、サルの威嚇に遭った。</p> <p>紺野：花火では追払い効果を感じない。農業被害が深刻で、農作業ができない。</p> <p>→ 原案のとおり承認される。</p>	

議案第2号 令和7年度鳥獣害防止総合対策事業実施計画（案）について

上記について、7年度に計画する事業、収支予算（案）を事務局より説明。

柵木：アニマルマップのエリアはどの範囲か。対象獣種はサルのみか。

事務局：3基の基地局設置により、町内全域を対象エリアとしている。対象獣種はサルのみ。

横澤：サルの出没について、防災無線による周知は可能か。

事務局：アニマルマップで観測できる位置情報は3時間ごとに更新され、リアルタイムではない。人的被害が深刻であるクマであれば、無線による周知を行うこともある。

紺野：イノシシの生態系等は把握しているのか。

事務局：捕獲頭数や農家の被害状況について調査しているが、生態系までは把握していない。

→ 原案のとおり承認される。

その他

- ・農政商工課から令和6年度に東北野生動物保護管理センターに委託し実施したニホンザル生息域調査の結果について説明。
- ・林政課から鳥獣被害防止に関する各データについて説明。

柵木：山林火災の影響でシカの群れ等が移動している等の影響はあるか。

事務局：肌感覚としてはない。